

離党届を持参し

表明阻止を嘆願

民主の5人、幹事長に

TPPの交渉参加に反対する民主党の衆院議員5人が10日午後、輿石東幹事長に離党届を持参して、野田佳彦首相の参加表明阻止を嘆願する。輿石氏は慰留するものとみられるが、首相が参加表明すれば、5人は離党も辞さない構えだ。

石山敬貴（宮城4区）、京野公子（秋田3区）、斎藤恭紀（宮城2区）、中後淳（比例南関東）、福島健一郎（熊本2区）の5人で、いずれも当選1回。TPP参加表明に反対する超党派の国会決議に賛同する呼びかけに署名するなど強硬に反対していた。